



# 全国で感染拡大中！ 新型コロナウイルス感染症

令和2年11月4日  
富山県感染症情報センター  
(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(令和2年第44週分・10月26日～11月1日)

### 《インフォメーション》

#### ●新型コロナウイルス感染症

国内の新型コロナウイルス感染者数は、11月1日時点で100,618例となり、1,773例の死亡が確認されています。県内では10月中の感染者は4例報告され、11月1日時点の累積感染者数は423例となりました。

全国の第2波の感染者数は10月に入ってから微増傾向となっています(右上図参照)。特に首都圏、関西圏、北海道や沖縄で感染者が多く報告されています(右下図参照)。気温の低下に伴い、窓を開けての換気が困難となることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念されます。また、インフルエンザの同時流行も想定されることから、特に高齢者、持病のある方は早めにインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。

今後も人との距離を保つことで接触機会を減らす、マスクを着用する、手洗いなどの手指衛生を行う、3密(①密閉、②密集、③密接)回避、感染リスクが高まる5つの場面(①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間におよぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤休憩室、喫煙所など居場所の切り替わり)を避ける等の感染対策の継続が大切です。

新型コロナウイルス感染症の初期症状は発熱、咽頭痛、咳など通常のかぜやインフルエンザの症状と同様です。症例によっては肺炎を起こし重症化します。強いだるさ、息苦しさ、高熱(38.0℃以上)等のいずれかがあり肺炎が疑われる方、高齢者や基礎疾患等がある方は、速やかに帰国者・接触者相談センターにご相談ください。発熱や咳など比較的軽い風邪の症状の方も、4日以上続く場合は必ず帰国者・接触者相談センターに相談し、指定された医療機関を受診してください。

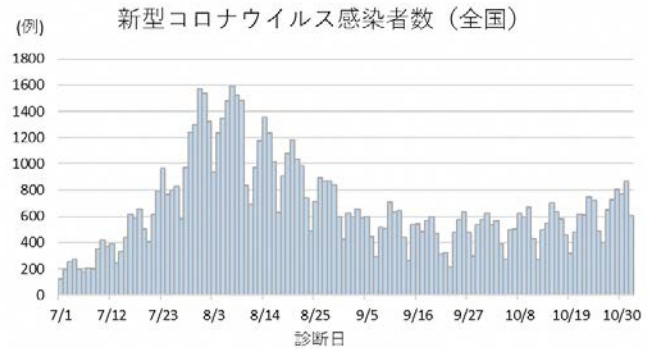
### 《全数報告の感染症》

- 指定感染症 新型コロナウイルス感染症 1件
- 二類感染症 結核 4件 (①第43週診断分：50歳代、女性 ②60歳代、男性 ③60歳代、女性 ④70歳代、女性)
- 三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1件 (20歳代、女性、O26、VT1)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (80歳代、女性、肺炎型)
- 五類感染症 梅毒 2件 (①第43週診断分：30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期 ②20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)

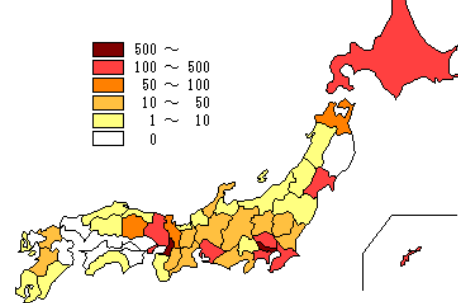
### 《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	2.00 (↓)	2.03
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.10 (↑)	0.72
3位	突発性発しん	0.45 (↑)	0.38
4位	咽頭結膜熱	0.21 (↓)	0.38
5位	流行性角結膜炎	0.14 (→)	0.14
6位	水痘	0.10 (↑)	0.03

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>



新型コロナウイルス感染者数(第44週)



○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第44週 令和2年10月26日～令和2年11月1日）

分類	疾患	今週報告分（第44週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
指定感染症	新型コロナウイルス感染症					1	1	46	13	38	10	316	423	
二類感染症	結核		1	1		1	3	16	5	31	8	33	93	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症					1	1	1	1	9		17	28	
四類感染症	E型肝炎							3					3	
	A型肝炎							9				1	10	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症			1			1	1		14	1	14	30	
五類感染症	アメーバ赤痢									1	1	2	4	
	ウイルス性肝炎											1	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							2		7	1	3	13	
	急性脳炎							2		1		1	4	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		7	9	
	後天性免疫不全症候群											1	1	
	侵襲性肺炎球菌感染症							2		2		5	9	
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7	
	梅毒					1	1	2		4		15	21	
	破傷風									1		2	3	
	百日咳										24	2	26	
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	892	567	1,190	3,564
RSウイルス感染症								2	5	26	4	37	74	
咽頭結膜熱		1 0.25	1 0.33	3 0.38		1 0.10	6 0.21	104	58	125	9	90	386	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1 0.25	1 0.33	15 1.88	3 0.75	12 1.20	32 1.10	129	188	1,232	180	1,372	3,101	
感染性胃腸炎		22 5.50	12 4.00	8 1.00	1 0.25	15 1.50	58 2.00	1,005	575	705	273	1,929	4,487	
水痘		1 0.25	1 0.33			1 0.10	3 0.10	30	33	72	18	97	250	
手足口病								18	3	33	9	55	118	
伝染性紅斑								9	26	32		165	232	
突発性発しん		2 0.50		4 0.50		7 0.70	13 0.45	35	24	189	67	169	484	
ヘルパンギーナ		1 0.25		1 0.13			2 0.07	70	2	22	4	8	106	
流行性耳下腺炎					1 0.25		1 0.03		9	6	6	6	15	36
流行性角結膜炎				1 0.50			1 0.14	1	6	11	2		20	
細菌性髄膜炎										1		2	3	
無菌性髄膜炎								1			1	6	8	
マイコプラズマ肺炎								2	12	26	16	9	65	
クラミジア肺炎												1	1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4	
インフルエンザによる入院患者（*）											1	1		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\* インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和2年第36週(8月31日)～の集計です。